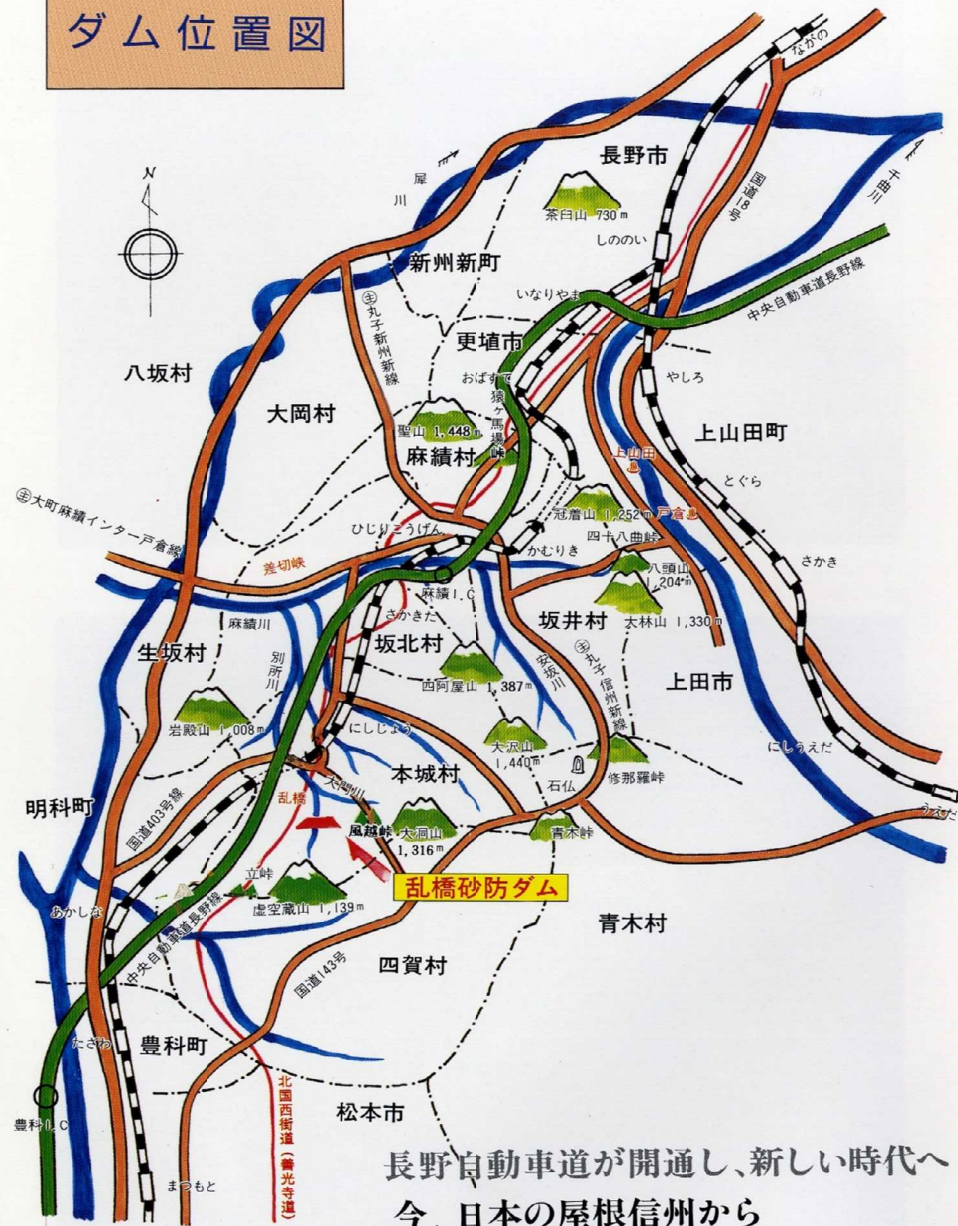
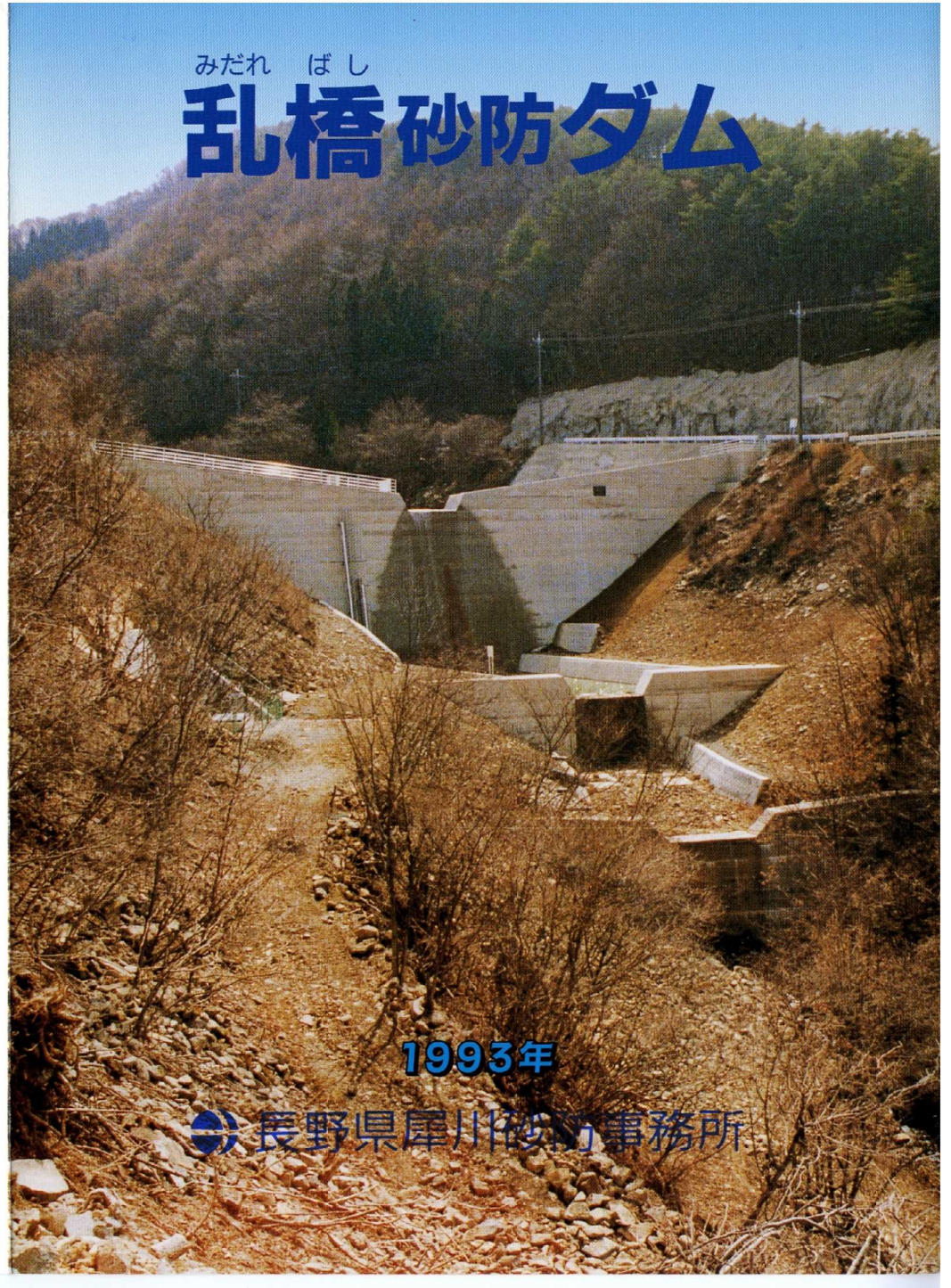


ダム位置図



長野自動車道が開通し、新しい時代へ
今、日本の屋根信州から
新・砂防の発進を!!

みだれ ばし 乱橋砂防ダム



1993年

長野県犀川砂防事務所

ダムの諸元

- 河川名 信濃川水系犀川右支麻績川左支別所川左小支乱橋川
- ダムの位置 長野県東筑摩郡本城村字乱橋
- ダム計画の諸元

流域面積	0.36km ²	最大洪水量	5.8m ³ /s
最大時間雨量	60.5mm/hr	現況河床勾配	1/7
流出係数	0.8	計画堆砂量	19,180m ³
土砂混入率	20%	貯水量	8,600m ³
比流量	16.1m ³ /s/km ²	湛水面積	1,840m ²

4. ダムの概要

- 型式 コンクリート重力式 (法率 1:0.2、1:0.74)
- 主要部寸法

工種 各部	本ダム	副ダム	側壁水叩部		摘要
			側壁	水叩	
堤長	62.0 m	32.0 m	長さ 22.08 m	長さ 19.36 m	
堤高	18.0 m	6.0 m	高さ 5.9 m	厚さ 1.15 m	
天端巾	3.0 m	2.0 m	天端巾 0.5 m	上巾 6.55 m	
堤底巾	19.92 m	5.18 m	下巾 2.27 m	下巾 5.4 m	
立積	6739m ³	579m ³	325m ³	147m ³	ΣV=7,790m ³

- 基礎岩盤の種類 新第三紀中新世の小川層に貫入したヒン岩が主体、一部互層状をなす砂岩、泥岩からなる。

5. 事業費 387,500千円

6. 事業効果

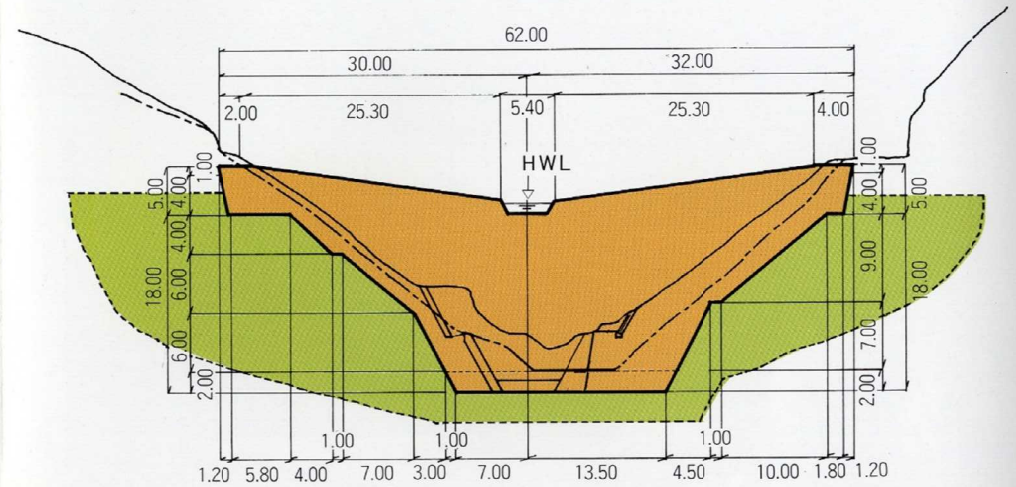
耕地	人家	道路	橋梁
10ha	28戸	2500 m	4

7. 施行期間

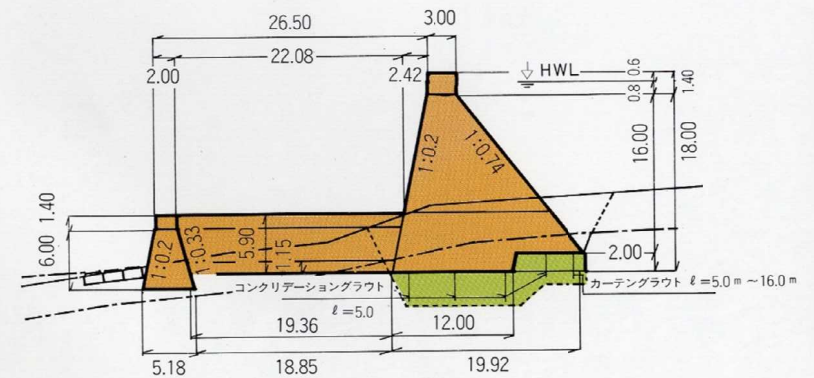
調査 昭和55年～平成元年 建設 平成2年11月～平成4年12月

ダム計画図

正面図



側面図



みだれ ばし

乱橋砂防ダム概要

乱橋川は東筑摩郡四賀村と東筑摩郡本城村の境に位置する虚空蔵山（1139.0m）に源を発し、一級河川別所川に合流する延長3.5kmの急流荒廃河川である。流域は急峻のうえ地質は第三紀層のためきわめて脆弱で、過去において幾たびか土石流による被害をこうむっている。

このため本川における流出土砂防止機能を大幅に増進し下流域の人命・財産を守るため、大型砂防ダムを計画したものである。

当ダムの完成は、地域住民が長年にわたり熱望してきたものであり、土砂災害防止効果による民生の安定に寄与するところ大である。



乱橋ダムの保全対象区域にあたる乱橋地区は、ふるくから北国西街道(善光寺道)沿いにあり、宿場と宿場の中間点で長旅の小休止をする、間の宿として栄えました。今でも当時の家並みが残されています。



ダム上流より聖山を望む



流域及び下流保全状況